主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）４級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表を完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。

２．試験時間は２０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

販売先名	商品名	定価	販売数
川村商店	A	4,800	145
ひかり堂	B	6,200	102
マルイチ	C	5,600	116
新鮮市場	D	7,300	90
宝ストア	E	3,900	158
青木商事	F	4,600	80
佐藤企画	G	5,400	78

＜処理条件＞

１．＜出力形式＞のような販売一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）

２．金額＝定価×販売数
　　割引額＝金額×0.05
　　請求額＝金額－割引額

３．合計・平均（整数未満四捨五入の表示）を求めなさい。

４．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

＜出力形式＞

販　売　一　覧　表

販売先名	商品名	定価	販売数	金額	割引額	請求額
合　計	――	――				
平　均	――	――				

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）３級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表を完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。

２．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

ＣＯ	社員名	算定基準額	査定Ａ	査定Ｂ
11	三浦　和男	310,700	60	43
12	西原　明子	350,000	53	61
13	佐久間　新	297,300	57	39
14	泉　あゆみ	453,700	49	62
15	大川　哲夫	285,900	37	74
16	上田　正美	239,600	71	48
17	杉山　雄一	472,800	56	53
18	鈴木　五郎	364,200	65	64
19	金子　政治	321,400	52	56

＜乗率表＞

算定基準額	乗率
350,000 以上	1.2
それ以外	1.3

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような社員別賞与一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）

２．乗率は＜乗率表＞を参照し、求めなさい。（小数第１位までの表示とする）

３．基本支給額＝算定基準額×乗率
　　勤勉手当＝2,000×査定Ａ
　　技術手当＝基本支給額×査定Ｂ÷500（整数未満切り捨て）
　　総支給額＝基本支給額＋勤勉手当＋技術手当

４．合計を求めなさい。

５．勤勉手当の少ない順に並べ替えなさい。

６．＜出力形式２＞のような処理をしなさい。すべて￥表示とする。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）

７．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

＜出力形式１＞

社　員　別　賞　与　一　覧　表

ＣＯ	社員名	算定基準額	乗率	基本支給額	査定Ａ	勤勉手当	査定Ｂ	技術手当	総支給額

（　途　中　省　略　）

――	合　計		――		――		――		

＜出力形式２＞

勤勉手当の平均	
技術手当の平均	
総支給額の最大	

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）準２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	売上数
101	高岡総業	12	498
102	スター商会	14	479
103	木下商店	13	527
104	二階堂食品	11	506
105	宝ストア	13	487
106	ひかり商事	15	514
107	北海企画	12	472
108	ＳＡＫＡＥ	15	548
109	赤井物産	14	540

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品名	原価
11	Ｓ商品	1,530
12	Ｔ商品	1,360
13	Ｕ商品	1,420
14	Ｖ商品	1,170
15	Ｗ商品	1,240

＜見込利益率テーブル＞

見込利益率	27%

＜値引率表＞

売上数　　金額	値引率
540 以上　または　95 万以上	8.4%
それ以外	7.2%

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような得意先別利益額一覧表を作成しなさい。（ ―― の部分は空白とする）
２．商品名・原価は＜商品テーブル＞を表検索しなさい。
３．金額＝原価×(1＋見込利益率)×売上数（整数未満切り捨て）
　　※見込利益率は＜見込利益率テーブル＞を絶対参照し、求めなさい。
４．値引率は＜値引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　値引額＝金額×値引率（整数未満切り上げ）
　　売上額＝金額－値引額　　利益額＝売上額－原価×売上数
５．合計を求めなさい。
６．売上数の多い順に並べ替えなさい。
７．得意先別利益額一覧表の原価のセル証明をしなさい。
８．＜出力形式２＞のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
９．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
10．得意先別利益額一覧表の利益額の値を得意先名別の横棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“利益額の比較”とし、凡例は“利益額”とする。

＜出力形式１＞

得　意　先　別　利　益　額　一　覧　表

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	商品名	原価	売上数	金額	値引率	値引額	売上額	利益額
				（　途　中　省　略　）						
――	合　計	――	――	――			――			

＜出力形式２＞

	売上数	値引額	利益額
平　均			
最　大			
最　小			

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

鈴木物産

ＣＯ	商品名	単価	数量
101	Ｈ商品	769	597
102	Ｉ商品	634	763
103	Ｊ商品	762	740
104	Ｋ商品	855	690
105	Ｌ商品	821	712
106	Ｍ商品	798	648
107	Ｎ商品	697	749

井上商事

ＣＯ	商品名	単価	数量
101	Ｈ商品	769	680
102	Ｉ商品	634	592
103	Ｊ商品	762	769
104	Ｋ商品	855	573
105	Ｌ商品	821	740
106	Ｍ商品	798	681
107	Ｎ商品	697	729

＜手数料率表＞

数量	手数料率
740 以上	11.7%
680 以上　740 未満	10.2%
1 以上　680 未満	9.8%

＜判定表＞

判定の条件	判定
鈴木物産が 57,000 以上かつ井上商事が 55,000 以上の場合	良好
鈴木物産が 57,000 以上または井上商事が 55,000 以上の場合	維持
それ以外	調査

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような販売手数料一覧表（鈴木物産）と（井上商事）の２つの表を作成しなさい。
　　（ ――― の部分は空白とする）
２．販売額＝単価×数量
３．手数料率は＜手数料率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　手数料＝販売額×手数料率（整数未満切り捨て）
４．合計を求めなさい。
５．＜出力形式２＞のような手数料総括表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
６．鈴木物産・井上商事は、それぞれの表の手数料を表検索しなさい。
７．総合計＝鈴木物産＋井上商事　　達成指数＝総合計÷110,000×100（整数未満切り上げ）
８．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
９．合計を求めなさい。
10．井上商事の多い順に並べ替えなさい。
11．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12．手数料総括表の鈴木物産と判定のセル証明をしなさい。
13．手数料総括表の鈴木物産と井上商事の値を商品名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“商品別の手数料”とし、凡例は“鈴木物産”、“井上商事”とする。

＜出力形式１＞

販売手数料一覧表（　　）

ＣＯ	商品名	単価	数量	販売額	手数料率	手数料
		（ 途 中 省 略 ）				
―	合　計	―			―――	

＜出力形式２＞

手　数　料　総　括　表

ＣＯ	商品名	鈴木物産	井上商事	総合計	達成指数	判定
		（ 途 中 省 略 ）				
―	合　計				―――	―――

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）準１級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

ＣＯ	社員名	等級	販売額	残業時間
101	秋山　花子	4	3,947,000	8
102	佐藤　正樹	3	5,125,000	10
103	森　あゆみ	1	4,621,000	15
104	久保田　勇	2	6,316,000	9
105	山川　由里	3	5,079,000	12
106	金子　純一	2	3,872,000	16
107	山本　絵美	1	4,958,000	11
108	中村　正和	4	5,982,000	14

※残業時間のデータは＜出力形式２＞で使用する。

＜基本給テーブル＞

等級	基本給
1	328,000
2	318,000
3	309,000
4	296,000

＜販売目標テーブル＞

販売目標	4,800,000

＜調整手当の計算式＞

基本給	調整手当
31 万以上	基本給×2%
それ以外	基本給×3%

＜評価表＞

残業時間	総支給額	評価
12 以上　かつ	385,000 以上	G
12 以上　かつ	375,000 以上　385,000 未満	S
それ以外		B

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような給料基本データ表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
２．基本給は＜基本給テーブル＞を表検索しなさい。
３．残業単価＝基本給÷160×1.25（整数未満切り上げ）
　　査定＝販売額÷販売目標×100（整数未満切り捨て）　※販売目標は＜販売目標テーブル＞を絶対参照する。
４．合計を求めなさい。
５．＜出力形式２＞のような総支給額一覧表を作成しなさい。（ ――― の部分は空白とする）
６．基本給・査定は給料基本データ表を表検索しなさい。
７．残業手当＝残業単価×残業時間　※残業単価は給料基本データ表を参照する。
　　販売手当＝300×査定
８．調整手当は＜調整手当の計算式＞を参照し、求めなさい。
　　総支給額＝基本給＋残業手当＋販売手当＋調整手当
９．評価は＜評価表＞を参照し、求めなさい。
10．合計を求めなさい。
11．総支給額の少ない順に並べ替えなさい。
12．総支給額一覧表を基に＜出力形式３＞のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
13．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
14．＜出力形式２＞の販売手当・調整手当を社員名別の積み上げ縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“販売手当”、“調整手当”とする。

＜出力形式１＞

給料基本データ表

ＣＯ	社員名	等級	基本給	残業単価	販売額	査定
（　途　中　省　略　）						
―――	合　計	―――		―――		―――

＜出力形式２＞

総　支　給　額　一　覧　表

ＣＯ	社員名	基本給	残業時間	残業手当	査定	販売手当	調整手当	総支給額	評価
（　途　中　省　略　）									
―――	合　計				―――				―――

＜出力形式３＞

残業時間が 15 未満の総支給額の平均	
販売手当が 31,500 円以上の基本給の合計	

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）１級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

販ＣＯ	商ＣＯ	売上数
1001	11	521
1001	12	400
1001	21	292
1001	22	385
1002	11	436
1002	12	348
1002	21	500
1002	22	428
1003	11	351
1003	12	399
1003	21	512
1003	22	483
1004	11	449
1004	12	531
1004	21	347
1004	22	481

＜販売先テーブル＞

販ＣＯ	販売先名
1001	ＹＯＵマート
1002	梅木ストア
1003	黒田商店
1004	ソレイユ

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品名	原価
11	Ａ商品	172
12	Ｂ商品	182
21	Ｃ商品	161
22	Ｄ商品	195

＜割引率表＞

売上数	商ＣＯ	
	10 番台	20 番台
1 以上　350 未満	4.5%	4.9%
350 以上　500 未満	5.3%	5.6%
500 以上	6.5%	6.8%

＜判定表＞

売上数	売上額	判定
400 以上　かつ	140,000 以上	＊＊＊
400 以上　かつ	125,000 以上　140,000 未満	＊＊
それ以外		＊

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような請求額一覧表を作成しなさい。（ ―― の部分は空白とする）
２．販売先名、商品名はそれぞれ＜販売先テーブル＞、＜商品テーブル＞を表検索しなさい。
３．定価＝原価×1.69（10 位未満四捨五入）　※原価は＜商品テーブル＞を参照する。
　　売上額＝定価×売上数
４．割引率は＜割引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　割引額＝売上額×割引率（100 位未満切り上げ）
　　請求額＝売上額－割引額
５．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
６．合計を求めなさい。
７．＜出力形式１＞と同じ形式で、梅木ストア以外で売上数が 400 未満を抽出しなさい。
　　表題は“請求額一覧表（梅木ストア以外・売上数 400 未満）”とし、請求額の降順に並べ替えなさい。
８．請求額一覧表を基に＜出力形式２＞のような処理をしなさい。
９．請求額一覧表を基に＜出力形式３＞のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
10．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
11．＜出力形式２＞の請求額を商品名別の縦棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“商品別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

＜出力形式１＞

請　求　額　一　覧　表

販ＣＯ	販売先名	商ＣＯ	商品名	定価	売上数	売上額	割引率	割引額	請求額	判定
				（　途　中　省　略　）						
――	合　計	――	――	――			――			――

＜出力形式２＞

商品別集計表

商品名	売上数	売上額	請求額
Ａ商品			
Ｂ商品			
Ｃ商品			
Ｄ商品			

＜出力形式３＞

割引率が 5.3%以上の売上額の合計	
売上数が 400 より少なく割引額が 7,000 円以下の件数	
Ｃ商品以外で請求額が 120,000 円以上の売上数の平均	

主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２４回（令和３年２月）情報処理技能検定試験（表計算）初段問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
４．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

貸ＣＯ	商ＣＯ	日数	ＯＰ
1001	202	13	C
1001	102	12	A
1001	101	9	A
1001	201	14	C
1002	102	9	B
1002	101	8	C
1002	201	14	B
1002	202	9	A
1003	102	15	C
1003	201	9	A
1003	101	17	B
1003	202	6	A
1004	101	10	C
1004	102	13	A
1004	202	12	C
1004	201	9	B

＜貸出先テーブル＞

貸ＣＯ	貸出先名	前月請求額
1001	安田商事	213,570
1002	佐野物産	200,160
1003	秋田総業	254,450
1004	マノ商店	190,710

＜商品テーブル＞

商ＣＯ	商品名	１日料金
101	商品Ｅ	6,120
102	商品Ｆ	7,510
201	商品Ｇ	4,120
202	商品Ｈ	5,230

＜乗率表＞

商ＣＯの下１桁	日数	
	1～9	10～19
1	100%	87%
2	85%	76%

＜ＯＰ単価テーブル＞

ＯＰ	ＯＰ単価
A	487
B	391
C	346

＜割引額の計算式＞

日数　　料金合計	割引額
48 以上　または　25 万以上	料金合計×8.7%
それ以外	料金合計×7.2%

※割引額は整数未満切り捨て。

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような貸出料金一覧表を作成しなさい。（ ―― の部分は空白とする）
２．貸出先名、商品名はそれぞれ＜貸出先テーブル＞、＜商品テーブル＞を表検索しなさい。
３．乗率は＜乗率表＞を参照し、求めなさい。（%表示とする）
４．貸出料金＝１日料金×日数×乗率（10 位未満切り上げ）　※１日料金は＜商品テーブル＞を参照する。
５．ＯＰ料金＝ＯＰ単価×日数（100 位未満切り捨て）　※ＯＰ単価は＜ＯＰ単価テーブル＞を参照する。
　　料金合計＝貸出料金＋ＯＰ料金
６．合計を求めなさい。
７．貸出料金一覧表を基に＜出力形式２＞のような貸出先別計算表を作成しなさい。（ ―― の部分は空白とする）
８．貸出先名は＜貸出先テーブル＞を表検索し、日数・料金合計は、基の表を集計しなさい。
９．割引額は＜割引額の計算式＞を参照し、求めなさい。　　請求額＝料金合計－割引額
10．前月比＝請求額÷前月請求額×100（小数第１位未満切り捨て）　※前月請求額は＜貸出先テーブル＞を参照する。
11．合計を求め、請求額の昇順に並べ替えなさい。
12．貸出料金一覧表を基に＜出力形式３＞のような商品別総括表を作成しなさい。
13．日数・貸出料金・料金合計は、基の表を集計しなさい。
14．構成比率＝料金合計÷料金合計の合計（%の小数第１位未満四捨五入の表示）
15．貸出料金一覧表を基に＜出力形式４＞のような処理をしなさい。
16．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
17．＜出力形式３＞の商品名別の日数を折れ線、料金合計を縦棒にした複合グラフにしなさい。
　　タイトルは“商品別の集計グラフ”とし、凡例は“日数”、“料金合計”とする。

＜出力形式１＞

貸　出　料　金　一　覧　表

貸ＣＯ	貸出先名	商ＣＯ	商品名	日数	乗率	貸出料金	ＯＰ	ＯＰ料金	料金合計
（　途　中　省　略　）									
――	合　計	――	――		――		――		

＜出力形式２＞

貸出先別計算表

貸ＣＯ	貸出先名	日数	料金合計	割引額	請求額	前月比
（　途　中　省　略　）						
――	合　計					――

＜出力形式３＞

商品別総括表

商品名	日数	貸出料金	料金合計	構成比率
商品Ｅ				
商品Ｆ				
商品Ｇ				
商品Ｈ				

＜出力形式４＞

商品Ｇまたは日数が 15 日以上の件数	
料金合計が最大の貸出先名	